

第10回

合理的設計手法から評価試験まで！

# 緩衝包装設計実践コース

公益社団法人日本包装技術協会 関西支部

発泡プラスチック緩衝材を対象とした標記コースでは、物理の基礎から緩衝設計、評価試験に至るまでのプロセスに加え、輸送効率や生産性に配慮した合理的な設計手法を分かりやすく解説します。

また、緩衝包装材を取り巻く昨今の環境動向や包装設計におけるユーザビリティについて、**現物サンプルを用いた体験形式**の研修とするなど、より**実践的な**内容となっています。



## 開催要領

と き：2016年10月26日（水）9：50～17：00

ところ：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL0725-51-2525）

対 象：＊包装資材メーカー、電機電子機器等 製造メーカーのご担当者  
＊これから包装設計業務に従事される方

定 員：15名（実習の都合上、定員になり次第、締め切らせていただきます）  
＊最少催行人数8名

参加費：日本包装技術協会 会 員 32,400円（お一人につき・消費税、テキスト、昼食代含む）  
一 般 37,800円（お一人につき・消費税、テキスト、昼食代含む）

## 申込方法

＊参加申込書に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

申込受付後、会場地図と請求書をお送りいたします（参加証は発行いたしません）。

＊申込締切日は10月20日(木)とさせていただきます。締切日以降の参加お取消しの場合、参加費のご返金はお断り申し上げます。代理の方のご参加をお願いいたします。

＊当日は直接、会場へお越し下さい。参加申込後の無断欠席はご遠慮下さい。

## 事務局

（公社）日本包装技術協会 関西支部 丹野 kpi@jpi.or.jp 多林 tabayashi@jpi.or.jp  
〒550-0014 大阪市西区北堀江 1-1-27 イマイビル 4 階  
TEL 06-6532-1189 FAX 06-6532-1179

## プログラム

日 時	内 容	講 師
9:50 ～12:00 <div>講 義</div>	1. 緩衝材についての基礎知識 * 緩衝材の役割                      * 緩衝材の種類と特性 2. 緩衝設計のための力学の基礎 * 速度              * 加速度              * 運動の法則 3. 緩衝理論 ～緩衝設計とは～ * 緩衝係数      * 製品の易損性	大阪府立産業技術総合研究所 製品信頼性科 包装・振動衝撃 主任研究員  津 田 和 城 氏
13:00 ～17:00 <div>講 義 &amp; 演 習</div>	4. 発泡プラスチック緩衝材の設計手順 * フローチャート      * 緩衝厚みと受け面積の算出 * 突起があるときの最適設計 5. 付属品と緩衝材のレイアウト検討 * 輸送効率と作業性に配慮した緩衝材形式について 6. グループ演習 * 与えられた課題に対してグループ単位で設計演習 7. 落下試験・衝撃値測定 * 設計した緩衝材による落下試験と衝撃値の測定 8. 各種評価試験設備の見学	シャープ(株) 品質推進部参事  成 本 裕 一 氏

### 「緩衝包装設計実践コース」参加申込書

FAX 06-6532-1179

※HPからお申込みできます。 <http://www.jpi.or.jp/shibu/kansai/index.html>

(フリガナ) 機 関 名				日本包装技術協会 会 員 ・ 一 般 (○印をおつけ下さい)	
参 加 者 ①	所在地	〒		TEL	
	FAX				
	所属・ 役職名				
参 加 者 ②	(フリガナ) 氏 名	E-mail			
	TEL				
	FAX				
所在地	〒		TEL		
所属・ 役職名					
(フリガナ) 氏 名	E-mail				

#### 【個人情報の取扱いについて】

- 個人情報は、当事業に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催する各事業のサービス提供やご案内等のために利用させていただきます。  
なお、作成資料は関係者に限り、配布する場合があります。
- 参加申込により、ご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。